

## 目標達成計画

作成日：平成 23年 1 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練の時火災警報アナウンス(火事です、火事です)にも入居者は無反応の方が多かった。2F3Fから滑り台から避難の予定がリビングからベランダにまでも行けない状況であり2Fは訓練事態理解出来ていない。	2Fの入居者はリビングからベランダまで自力で出る。3F入居者は滑り台で1Fまで滑れるようにする。	1年2回の避難訓練の他2F,3Fで滑り台の練習や火災警報アナウンス代わりに、大声で火事ですと言いながら鍋を叩いて訓練を促す。	12ヶ月
2	13	職員の研修、スタッフ不足で思う様に法人外の研修は行けなかった。シフトの都合で参加希望者で決めてきたが参加者が何時も同じになっている。	認知症実践者、リーダー研修以外は2F3Fスタッフ順次参加出来るようにして、ケアの質を上げていく。他のグループホームの職員との交流が出来ればよい。	栃木県内の情報を集める。1月ケース会議においてスタッフと話し合いシフトの交代など理解してもらう。会社側は、良い研修であれば費用は認められる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。